

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

交通安全教室

昨年度も、全国で痛ましい事故が数多く起きました。11日には入学したばかりの1年生のために、南アルプス警察署および交通安全指導協会の指導員さんたちが来てくださり、交通安全教室が開かれました。一年間、百田小児童には事故なく安全に過ごしてもらいたいと思っています。ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。



みまもりたすきの更なる活用を

各家庭に一本ずつたすきをお配りさせていただいております。児童への「見守り」と共に見守る方にとっても「身守り」の意味をもつこのたすきですが、登下校の際につけて頂いている保護者の皆様や祖父母の皆様を多く見かけるようになったことを、うれしく感じております。たすき一本で地域と児童や学校とが結ばれ、また不審者等の抑止にもつながると言われております。ぜひこれからも、学校へお越しの際、買い物や散歩のときなど、ちょっとしたときにつけて頂きたいと考えます。よろしくお願いいたします。おじいちゃん・おばあちゃん、ご近所の方など、さらに御協力いただける方が増え、たすきを必要という場合には遠慮なく学校までご連絡ください。児童を通して、お渡しすることができます。



一年生を迎える会

4月14日に一年生を迎える会が開催されました。あいにく途中で雨となったため、後半の交流の場面が打ち切りとなってしまいましたが、元気な一年生を迎えることができました。一人一人元気な声で自己紹介ができた一年生、一日も早く慣れ、全校児童が仲良く学校生活を送ってほしいものです。児童会活動もいよいよ開始です。



重ねてのお願い

昨年度もお願いしましたが、一年生が入学したということから再度のお願いをさせていただきます。新型コロナの収束がなかなか見えません。地域の感染レベルも2のまま厳しい状況です。県教委の指導を受け、発熱等の症状がある場合には自宅での休養および早めの受診を、また同居ご家族に同様な症状が見られる場合（医師の診断のある持病等は除きます）には登校を見合わせて様子を見ていただくことをお願いしています。加えて、本人やご家族が陽性・濃厚接触者となったとき、またPCRや抗原検査などの検査を受ける場合には、検査が決まった時点でご連絡いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

TEL 白根百田小（日中） 055-285-3766

TEL 休日や夜間、緊急用 080-3700-6919

小さな目標を達成し、大きな目標につなげる

目標

私たちは、明文化するか心に秘めるのかは状況によって変わりますが、何かをする前に目標を立てることが多くあります。学校でも、学校教育目標をはじめ目指す児童像や教師像を掲げ、また各学年でもそれぞれ目標を立て教育活動を進め、評価・改善へとつなげています。児童にも、年度はじめや学期はじめ、行事に向かう時などに目標を立てさせることが多いのですが、時として漠然としすぎてしまい、早いうちに意識の中から消えてしまうということもありがちです。

さて、サトーカメラという販売店をいくつも経営している佐藤さんの話です。サトーカメラを始めたとき、なかなか商売がうまくいかなかったようで、店をやめてしまおうと思ったこともあったようです。ある日、近くにある電気製品店に行った時のこと。その店の中には小さなカメラ屋があったので、佐藤さんはそのカメラ屋をのぞいたそうです。佐藤さんのお店よりずっと小さい店なのに、たくさんの人がいて繁盛していました。佐藤さんは考えました。この店は小さいのに客がたくさん来る。違いはどこにあるのだろう。いろいろ考えているうちに、佐藤さんはあることに気が付きます。それは、佐藤さんの店はカメラ専門店といいながら、カメラがあまり売れなかったのでテレビやコンピュータなどいろいろなものを売っていたのです。それに気が付いた佐藤さんは、自分の店のカメラ以外のものを安く売ったり引き取ってもらったりして、カメラだけ売るようにしました。しかも、カメラはカメラでも当時人気のあったビデオカメラを一生懸命に売ろうとしたそうです。さらに、ビデオカメラの中でもある会社のものを中心に売ったそうです。そうしたら、ビデオカメラの売り上げだけはあっという間に地域でナンバーワンになりました。そのことを大きく宣伝すると、ますますたくさんの客がやってきて、いつの間にか大繁盛するようになったのです。



この話から、何かをやり遂げようとしたら、あれもこれもいろいろやろうとしないで、まず何か一つに集中することが大切だと言えるでしょう。さらに、そこから絞って小さいことを第一の目標とする。これが成功の秘訣ではないでしょうか。「テストで100点をとる」という目標では、例えば「国語のテストで100点をとる」「算数のテストで100点をとる」など教科を絞る、さらに「漢字50問で100点をとる」「算数のかけ算のテストで100点をとる」と絞り込むこともいいのではないのでしょうか。「元気に挨拶をする」という目標なら「おはようございますの挨拶を元気いっぱいする」「先生やお客さんへの挨拶を頑張る」などとすれば、取り組みやすいのではないのでしょうか。

誰でも成功体験をすると自信につながり、少し大きな目標を掲げるようになります。少し大きな目標が達成されるとそれがまた自信となってさらに大きな目標につながっていきます。ですから、**最初の小さい目標設定の場が大切になります。いかに具体的かつ努力によって達成可能である目標となっているか、さらにその先に次の目標が設定できる（発展可能な）内容になっているのか、**そんなところに注意を払いながらPDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）によって進めるとともに児童にも投げかけていきたい内容だと考えております。

